

多賀高校 新入生のみなさん！入学おめでとう！

茨城県立多賀高等学校同窓会

会長 助川 吉洋

多賀高校生の皆さん こんにちは！ そして 新入生の皆さん 多賀高校へようこそ！
通常なら入学式に臨席し、お祝いを申し上げるところでしたが、この状況ですでご容赦いただきました。

新型コロナウイルス感染もようやく収束の兆しが見えて参りました。まだまだ油断できませんが、まもなく学校も授業再開になると伺っております。新入生の皆さんには、慣れない高校生活ですので不安な2ヶ月あまりを過ごされたことでしょう。まもなく、多賀高校での楽しい学校生活が再開します。みんなで力を合わせて頑張りましょう。

さて我が母校 多賀高校は、昭和28年（1953年）に開校以来この5月1日で創立68年目を迎えました。学校創設にあたっては、当時の多賀郡多賀町の方々と大窪定一町長の並々なぬ努力があったと伺っています。日立製作所国分工場の用地の一部5.6haを茨城県が買い上げたものの、その他建築費等の一切は、多賀町が負担しなければならず、大久保町と諏訪町の町有林の木材を売却して建築費用に充てたそうです。正に多賀高校は、地域の人々に支えられて設立した学校といえます。第1回の入学生は208名（男104名、女104名）で、男女共学で、当時としては大変珍しかったようです。そのせいか、昭和33年（1958年）の高校入試は、3.3倍と県内1の倍率だったそうです。本校は地域の方々の期待に応え「文武不岐・師弟同行」の校是を掲げ、2万人を超える有為な人材を輩出し、68年の歴史をたどって参りました。

しかしながら、今般のような長期にわたる学校活動の中断は初めてのことです。入学当初から困難な事案にぶつかって不運と思っている入学生も多いことと思いますが、ピンチはチャンスと言います。学校が通常に戻れば、授業や部活動に明け暮れることになるでしょうから、現在の自宅学習を前向きに捉えて、進路に併せて読書をしたり、ニュースを見て世の中の様々なことを考えたりする時間にはいかがでしょう。

現在のこの状況は、同窓会としても未曾有の経験です。この災禍を皆一丸となって乗り越えていきましょう。

結びに 私は現在、福祉施設の施設長を任されております。私自身は、絶対に新型コロナウイルスに感染してはいけないという思いで、細心の注意を払って生活しております。どうか皆さんも三密にならない生活を心がけてください。このことに関しては、子供だから学生だからという甘えは許されません。そして一日も早く通常の生活に戻れるようみんなで頑張りましょう。

同窓会長として皆さんの前でお話しできる日を心待ちにしております。

多賀高生！ 最善を尽くして颯爽たれ！